

## 枝物の新たな取り組み～JA 紀北かわかみ 杉尾地区～ サカキ・ビシャコ・シキミ

J A 和歌山県農 野菜花き販売課

今年から JA 紀北かわかみ管内の橋本市杉尾地区のビシャコ（ヒサカキ）、サカキ、シキミが少量ですが、ほぼ定期的な出荷が始まっています。

杉尾地区は古くから柿の産地ですが、高齢化が進み、急傾斜地での収穫作業が困難となりつつあります。なにか軽量で、価格もそこそこ安定した品目はないかと同地区からの要望があり、JA 紀北かわかみと県農が連携し、昨年夏からサカキやビシャコなどの枝物栽培を進めてきました。



杉尾地区のサカキの大木

同地区では、過去には南天を栽培出荷していたことがあり、柿園の周囲には南天の他、サカキやシキミ、ビシャコが育っていて、少し手を入れることで出荷が可能になる状態でした。

そこで、昨年 6 月下旬に集荷・出荷に関する研修会を地元で開催しました。県農から収穫を兼ねた整枝・剪定の方法や荷造り方法などを説明の後、花き市場の名港フ



集荷・出荷の話し合い（平成 27 年 6 月 23 日）

ラワーブリッジの山内課長からは、名古屋市市場におけるビシャコ等の流通状況、出荷規格、荷姿などのついて説明を頂きました。集まった生産者 6 名と集荷・出荷の可能性について話し合った結果、枝もの出荷に意欲があり、昨年 7 月中旬から集出荷を始めました。



出荷されたビシャコの大束

出荷当初、ビシャコの下葉の方に実がついているなどの不備もありましたが、徐々に改善され、現在では品質も向上した品物が出荷されるようになっていきます。

しばらくは大束出荷で対応していきませんが、今後は市場と相談してククリにも挑戦していきたいと話しています。